

# 2016 ふれあい商品券

## 販売開始!!



毎年好評をいただいている「葦崎市プレミアムふれあい商品券」を今年度も販売します。  
今回は1セット10,000円で、11,000円分のお買い物ができます。

また、今年度は、すべての取扱加盟店舗・事業所で使用できる共通券と、中小加盟店舗・事業所のみで使用できる専用券の組み合わせで発売します。



### 【葦崎市プレミアムふれあい商品券】

- 発売日 7月1日(金) 午前9時～
- 有効期限 平成29年1月31日(火)
- 販売場所 葦崎市商工会  
市役所2階商工観光課  
スーパーやまと(富士見店・葦崎本町店・移動販売車)
- セット内容
  - ・共通券 1,000円×4枚  
※すべての取扱加盟店舗・事業所でご利用できます。
  - ・専用券 1,000円×6枚  
500円×2枚  
※大型店ではご利用できません。
- 販売セット数 5,000セット  
◎1世帯10セット(10万円)まで購入できます。
- 問い合わせ 葦崎市商工会 ☎22-2204  
商工観光課 商工労政担当 (内線215・216)

「葦崎の下条に老婆が住んでいました。突然、角が生えてきたので恥ずかしなり、甘利山にのぼり、樫池に身を投げてしまい、池の主として大蛇になりました。この地域を治めていた領主の甘利左衛門の子供が池でおぼれたことに怒って、池のまわりのさわらの木を切って、池を埋め立てようとしていました。池の主は大蛇は苦しんで、赤い牛となって飛び出しました。赤牛



## 山の中腹のフシギな池

### さわら池

にらさき遺産めぐり 第18回

南アルプスの前衛の山々には水をたたえた池が各所にあります。そんな場所を高層湿原などといって、伝説の舞台として登場します。そんな舞台の一つに甘利山のさわら池があります。伝説はこんな話です。

は大笹池に逃げ込みました。が、さぐりに追い出されて、苗敷山を超えて、南アルプス市八田の野牛島の能蔵池に住むようになりました。」

単なる作り話のように見えますが、山の中に枯れることがなく水がある池ということから、日照り続きのときの雨乞いの場所として信仰の対象となり、そのことを子供たちに伝えるために語られたものなのでしょう。

梅雨も明けると、暑くなりますが、甘利山はとても涼しく、夏山で見られる花も楽しむことができます。甘利山に行く途中の静かな池に立ち寄りてみてはいかががですか？なぞめいた池の姿を眺めながら、さわやかな風を体に浴びてみてはいかががでしよつか。モリアオガエルの合唱を聴くこともできるかもしれませんよ。

さわら池の赤牛の伝説を伝えるシャッターアートがありますよ。こちらも探してみてはいかがですか。

(記事文化財担当 関根俊明)

市の人口	6月1日現在	(前月比)
男	15,090人(うち外国人169人)	-17人
女	15,266人(うち外国人264人)	-22人
計	30,356人(うち外国人433人)	-39人
世帯数	12,477世帯	-5世帯

### ●国民健康保険より

6月に葦崎市国民健康保険で支払った額(保険者負担額)は、157,439,480円(前年同月比2.15%減)で、1人あたりの保険者負担額は、20,724円(前年同月比1.55%増)でした。引き続き健康に気をつけ医療費の節約にご協力ください。